縹十五句

松岡隆子選

風生忌大きな鳥が枝にゐて　別府　優
烈風のあとのさざ波蘆芽ぐむ　峰岸よし子
おほかたは山と空なり耕せり　佐藤郭子
朧夜のまた置き直す砂時計　松原ふみ子
松過ぎの雀や足のはやきこと　川上昌子
もう少し居てほしき子に蜜柑むく　渡辺あつ子
雛飾る老いたることの口に出て　室井千鶴子
取り敢へず受験子の背を叩きやる　染谷晴子
手に載せて明日退院の椿かな　髙橋愛子
わがままに過ごすも余生懐手　大祝えつこ
金田さんが唄つてくれる手毬唄　東海林よしえ
春愁の土手の何処かに朔太郎　珍田千代子
波滾る千曲川いま雪解川　中島紀子
春昼の針穴とんと見えざりし　田中敦子
如月の富士とし裾野まで白き　青山泰一郎